

絵金没後一五〇周年記念企画

一般財団法人こうち文化福祉振興財団助成事業

エキンスタイル実験工房2

高知ゆかりのアーティスト×絵金

× 参加アーティスト

島村 悠

鶴見 さくら

デハラ ユキノリ

はらわた ちゅん子

fufufuuun bu shinichi

前田 実津

村岡 マサヒロ

森 謙次

西村 依莉

+ 高知県内で活動する10代・20代の若手アーティスト and so on ...

2026.1.30 (金) - **2.1** (日)

いの町紙の博物館

〒781-2103 高知県吾川郡いの町幸町110-1

【時 間】 9:00-17:00

【入館料】 一般 500 円、小・中・高生 100 円、65 歳以上 250 円（要年齢確認）

× 関連イベント 詳細は裏面をチェック！

ほかではみられないエキンスタイルならではのイベントをプログラム。好評のコンサートのほか、多彩なゲストを迎えてのトークショー、パフォーマンス、ワークショップなどを開催！

Instagram : @ekinstyle_scince2023

instagram



いの町紙の博物館

開館時間：9:00-17:00

〒781-2103 高知県吾川郡いの町幸町110-1 TEL：088-893-0886 / FAX：088-893-0887

Email：tosawasi@bronze.ocn.ne.jp HP：https://kamihaku.com/

【お問い合わせ】 エキンスタイル実行委員会

TEL：090-5287-8473 Email：eskjkochi@gmail.com

Instagram：@ekinstyle_scince2023

【主催】 エキンスタイル実行委員会・いの町紙の博物館 【協賛】 一般財団法人こうち文化福祉振興財団

【後援】 絵金蔵運営委員会、高知県、創造広場アクトランド、高知県手すき和紙協同組合、高知新聞社、RKC 高知放送、KUTV テレビ高知、KSS さんさんテレビ、Hi-Six FM 高知

【使用画像 作品名】 表：『花衣いろは縁起 鷺の段』（部分）赤岡町本町二区所蔵



【エキンスタイルとは？】

絵金のない絵金展「エキンスタイル」。「エキンスタイル」とは、現代の高知の画家が受け継ぐ絵金らしさです。土佐が誇る幕末の絵師絵金（弘瀬金蔵）を、そしていまを生きる高知の「絵師」を、よりたくさんの方に知っていただくため、高知の絵金文化の伝統の保存・継承と発展のために2023年に始まりました。

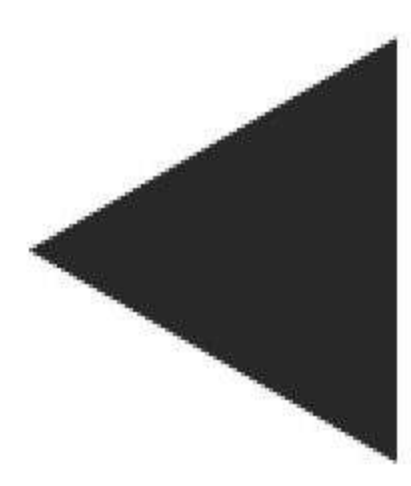
【エキンスタイル実験工房2について】

絵金の150回目の命日(今年3月8日)をしのぶイベントです。高知のアーティストたちが、それぞれのスタイルで、それぞれの中に息づく「絵金」をどう表現するのかをご覧ください。

今回はこれまでのエキンスタイルのコンセプトを引き継ぎながらも、「楽しく絵金であそぶ」を目的としています。美術展に、ヴォイス・パフォーマンス、トーク、ダンス、演奏会を合わせた実験的な総合芸術イベントです。

× スペシャルイベント ×

各イベント入場無料 ※紙の博物館の入館料が必要です



イベント参加申し込み・予約

<https://forms.gle/6b7dKcKaBG9ECCqA7>

【お問い合わせ】エキンスタイル実行委員会

TEL : 090-5287-8473 Email : eskjkochi@gmail.com

Instagram : @ekinstyle_scince2023



巻上 公一 ヴォイス・パフォーマンス+トーク

1月31日(土) 14:00 ~ 定員30名

稀代の歌唱家、巻上公一によるヴォイス・パフォーマンス。ことばと音楽、芸術と大衆性、そして自然が交差する、その場でしか聴くことのできないノンジャンル・サウンド体験

巻上 公一 (まきがみ こういち)

超歌唱家、ソングライター、詩人、プロデューサー、ヒカシューのリーダー、日本トッパホーメイ協会代表、Jazz Art せんがわプロデューサー。静岡県熱海市生まれ、在住。ヒカシューのリーダーとして作詩作曲はもちろん、声の音響やテルミン、口琴(こうきん)を使ったソロワークやコラボレーションも精力的に行っている。類いまれな歌のセンス、声の可能性の追求、斬新な切り口と諧謔精神を備え、歌謡曲から歌ともつかぬ歌まで、そのパフォーマンスは縦横無尽且つ自然体。最近はいくつかのシアターピースにも着手している。シベリアのトッパ共和国に伝わる喉歌ホーメイの紹介者、第一人者であり、指導者としても多くの歌手を育てている。

※【別会場】18:30より、ギャラリー・カフェ十月(高知市越前町2丁目7-6)にて巻上公一トークショー開催。詳しくはInstagram (@october_kochi)

コンサート & ダンス 音楽で旅する絵金の生きた時代 絵金の聞いた音楽/聞けなかった音楽 3

2月1日(日) 14:00 ~ 定員30名

絵金の生きた時代の雰囲気音楽をイメージする、好評の演奏会第3弾。

今回はクラシックチーム+ダンスによる、まさに実験的な演奏会。どんなものになるのでしょうか？



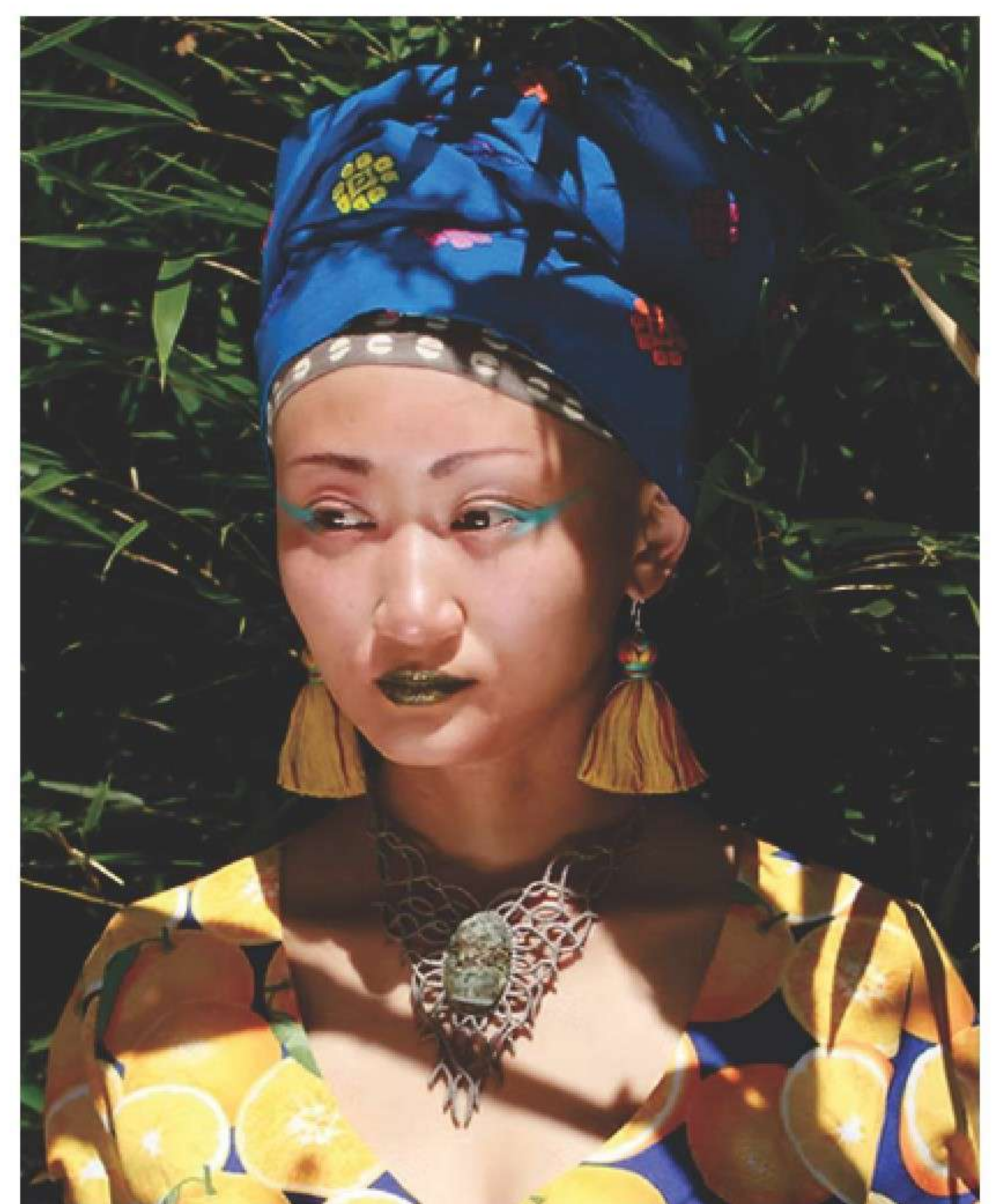
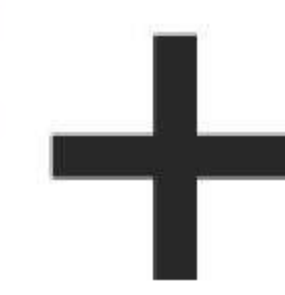
切詰 稚菜 (フルート)



藤原 鈴佳 (ピアノ)



目代 美和 (ヴァイオリン)



遠枝 恵実 (コンテンポラリーダンス)

ダンス・ワークショップ 講師：遠枝 恵実 (ダンサー、DANCE & ART スタジオ プエルト代表)

2月1日(日) 13:00 ~ 定員15名 (小学生から高齢の方まで、どなたでもご参加いただけます)

和紙を使ったダンスを一緒に作ってみませんか？
頭で考えず、まずは体を動かしてみよう！

遠枝恵実 (とおえだ めぐみ)

埼玉県出身。キューバ人ダンサー、ナルシソ・メディナ氏の舞台に感銘を受け、2013年に東京の会社を退職、キューバへ2年間のダンス修行に。国立芸術大学の現代舞踊科、また、国立舞踊団に所属し、現代舞踊、サルサなどキューバ民族舞踊をまなぶ。帰国後、関東圏のアートスクール等でダンス指導を開始。また、身体表現パフォーマンスグループ「劇団解体社」に所属し、東京公演に出演。2017年には中米グアテマラ、メキシコにてダンス指導、現代舞踊自主公演を行う。2018年末、夫と高知県室戸市に移住。「自然と共に、時の中で、自分を踊る」をコンセプトに表現活動を広げる。